

全国アドバイザー養成講習会 に参加して

鳥取県青少年育成アドバイザー副会長
西上 洋治



令和2年2月14日(金)から16日(日)国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に令和元年度青少年育成アドバイザー養成講習会が行われました。長らく母の介護のため参加できませんでしたが、ショートステイの支援が受けられるようになり、久しぶりに参加できました。ありがとうございます。多くの方々に感謝、感謝です。

参加してアドバイザーのめざす方向性が再確認できたことが一番うれしかったことです。青少年育成アドバイザーとは、将来を担う青少年が社会の一員としての自覚を高め、たくましく生きる力を育むため、青少年の地域活動を支援すると共に、健全な育成にふさわしい社会環境の醸成に努めることをめざし、次の役割が期待されています。

- ①子どもが伸びるチャンスを活かす運動の提唱、推進を図ること
- ②青少年育成都道府県民会議をはじめ市町村青少年育成組織を支援し、運営基盤づくりや青少年問題に関心の高い町づくり国づくりに力を注ぐこと
- ③青少年育成活動組織に関わり、計画準備、調整、参加募集等のプログラム実施に関わること

④その他、育成課題解決のための地域連携活動の推進を図ること。

また、運営体制のメンバーにも関わることができました。会場案内係と3回のグループ討議と全体発表に向け、第1グループ3の9名のメンバーのファシリテータ役を務めました。鳥取県のメンバーにも「子どもの居場所づくり」をテーマにしたグループワークをやってみたいな、と思っています。いや、実行することを提案していきます。キーワードは、集まる、つなぐ、活動する。

コロナウィルス対策で今学校は休校になっていますが、子どもたちの居場所としては、学校は安全な場所の最適地です。家でしっかり保護者が隔離していればいいのですが、児童クラブ・学童保育や学校で預かるのであれば、そこも集団クラスターになる可能性が否定できません。また、家でダラダラ一か月以上も生活した後、四月から新学期を迎えても生活の切り替えができず、学校不登校の児童生徒が急激に増えることが予想されます。テレビゲームに夢中で面白おかしく過ごしていることで、学習意欲の低下や生活リズムの乱れを回復することが難しい児童生徒が多いのです。これらの児童生徒にどう向き合っていくのか、教育長は知恵を出し、学校現場に具体的指示を出してほしいと願っています。間違っても、勇み足で学校を休校にした後始末を、学校長に丸投げすることのないようにしてほしいです。

各学校の児童生徒の登校口で手をアルコール消毒し、マスクを着けて生活していることで感染を防ぐことができるのではないのでしょうか。毎朝やっている健康観察をよりいねいに行うとともに、検温記録を残していくのです。大人が社会生活の中から家庭に持ち込んで、感染を広げているのです。子どもではないのです。



ありがとうの効果

鳥取県青少年育成アドバイザー副会長
万木 秋弘



今日は誰かに「ありがとう」と伝える機会がありましたか。感謝を感じて「ありがとう」を伝えると心が平安になり満たされます。また、相手から「ありがとう」と言われると幸せな気持ちになります。

実は、脳科学的にみても感謝は幸せな気分になるものです。人に感謝すること、されることでオキシトシンという神経伝達物質がでます。オキシトシンは「幸せホルモン」とも呼ばれ私たちの心の安定もはかっています。感謝をする、されることがどれだけ良いことであるか分かりますよね。ところが当たり前、当然と感じている時は、誰もが感謝の気持ちを忘れてしまいがちです。よく、感謝の反対は「当たり前」だと言いますね。「感謝」は当たり前のことを当たり前ではないと気づいた時に生じる感情です。

- ・三食の食事ができること
- ・住む家があること
- ・テレビやインターネットが使えること
- ・電気がいつでも使えること
- ・日々平和に暮らしていること



当然のように感じても、実は一つとして当たり前のものは無いのです。私たちが今ここに存在していることも当たり前ではありません。

一説によると私たち人間が一人生まれる確率は1400兆分の1とも言われています。そう思うと、存在自体が奇跡です。もしかするとご家庭で、子どもが言うことを聞かず日々ストレスを感じたり悩む人も多いかもしれません。でも、お子さんが産まれた瞬間はどうでしたか？小さな体で力いっぱい産声を上げるわが子を見て「生まれてきてくれてありがとう」と幸せな気持ちになったと思います。生まれてきたこと生きていること平和に暮らしていることそのすべてが当たり前でないこと、全ては奇跡であることを思い出してみよう。

今日は、自分の体に「いつもがんばってくれて、ありがとう」と伝えてみてください。家族や友人に「ありがとう」の思いを伝えてみてください。

今日一日の終わりが幸せな気持ちになりますように。

～追伸～

今年はコロナウイルスの関係で地元の小中学校の卒業は来賓を招待せず開催されました。毎年のように子どもたちの晴れ姿が見られずに残念でした。式には出席できないので、子どもたちのはなむけに何か出来ないかと、来賓出席予定の人達と相談した結果、みんなでカンパして子どもたち2人一人に花を贈ることにしました。卒業生や保護者、校長はじめ学校関係者に喜んでもらえてよかったです。

コロナウイルスの影響はまだまだこれからも出てくると思いますが、皆様健康に留意して頑張っていきましょう～

徒然なるままに～

第2報

今回は、笑顔のすてきなオトナ、
じょうしんさんです



鳥取県青少年育成アドバイザー協議会
清水 成眞



皆さんこんにちは。全国で新型コロナウイルスの影響を受け、政府が5月6日までの「緊急事態宣言」を出しました。大きいものではオリンピックも来年に延期になり、さまざまなイベントが中止となっています。これまで近代五輪は3回中止されたことがあります。1916年ベルリン五輪、1940年東京五輪、1944年ロンドン五輪で、いずれも戦争のためでした。一つのウイルスのためにオリンピックが延期になったことは初めてです。

現在「外出自粛」ということで、各地の観光地や、宿泊施設や、飲食業をはじめ、建設・土木・生産・建築・流通・販売など、全国にその影響は広がっています。

3月2日から、全国の小中学校をはじめ教育施設の閉鎖が大きな話題となりました。子ども達は、学校にもまた、外出も自粛と言うことで、「ストレス」がたまり、いろいろな問題も起こっています。

日本では、学校に行くことは当たり前のようですが、2017年時点で、世界では6～14歳の1億2,400万人の子どもたちが学校に通えていません。このうち初等教育を受けられていない子どもは約6,100万人にも及びます。学校に通えない子どもたちは、計算や文字の読み書きができないま

ま大人になってしまいます。そのため世界では、学校に通っていない子どもも含めて、約7億5000万人が文字の読み書きを身につけていないのです。

現在、世界で一番、識字率が低いのは、西アフリカのニジェール共和国と言う国で女性の識字率は15%程度です。そして、識字率の低い国にはアフリカ地域の国が多い事が報告されています。東ヨーロッパと中央アジアの識字率は男性が100%、女性が99%となり、識字率は南アフリカなどの途上国が低く、先進国が高い水準を維持している傾向があります。

また、識字率が低い国の特徴としてあげられるのは、男女における識字率の格差が大きいことです。識字率は教育を受けているかどうかで大きく変わるため、途上国では男女間の教育格差があることも読み取れます。

では、教育を受けたくても受けられない理由とは、どんなものがあるでしょうか？

- ※ 家事や子育てなどの労働
- ※ 水汲みにも子どもの労働に
- ※ 教師や学校教育の質が不足している
- ※ 学校に通わせる意味、教育の重要性を親がわかっていない
- ※ 貧困な家庭事情
- ※ 戦争の影響
- ※ 女性だからという理由
- ※ トイレがないのも問題



世界では教育を、受けたくても受けられない子どもたちが多くいます。その背景として、貧困が妨げとなっていることが多く、私たちは教育支援だけでなく、貧困を解決するための支援も同時に行う必要があります。教育は子どもの人生の基盤となり、教育を受けているかいないかで未来は大きく変わります。すべての子どもが教育を受けられるよう、私たちも考えていかななくてはならないと思います。

現在、学校が休校となり「学力低下」が問題視されています。しかし、私たちが目指す第一は「命」であり、そのことを忘れることでさまざまな問題を引き起こしていると考えています。

世界中に広まっている「新型コロナウイルス」ですが、まずは自分たちの命を守る行動とともに、地域の子どもの輝く笑顔のために頑張っていきたいと思います。



令和元年度 鳥取県青少年アドバイザー養成講座を受講後、鳥アド協議会のメンバーに加わっていただきました山本さんをご紹介します。



山本喜実枝

はじめまして

この度、鳥取県青少年育成アドバイザーの仲間になりました、山本喜実枝です。

たびたび、「喜実枝」の「実」を「美」に間違えられます。容姿は美しくない(それなりに・・・、年相応・・・)。人格は？「実」は中身が備わる(果実)。実を尽くす(誠実)と。・・・これらは、私自身、生涯の目標、課題です。親がつけてくれた漢字をお願いします。

住所は、弥生人の脳が発掘された、歴史のある青谷です。これまで、助産師として「性」について思春期の皆さんにお話をしてきました。心で生きるということの「難しさ」、「大切さ」、「ありがたさ」をもっと多くの方にお伝えしたいと思っています。

いままでの知識も活かしつつ、新しいことをどんどん吸収して行こうと考えています。

よろしくをお願いします。



～編集後記～

2月中旬、お茶の師匠と一緒に京都の相国寺承天閣美術館「茶の湯・禅と数寄」展へ行ってきました。そこで目にした、横川景三墨跡「一華号偈」の凜として引き締まったきれいな墨跡に足が止まりました。

今回いただいた原稿を拝見させていただきながら、名を新ためるように気づきを新め、そしていつか一華五葉を開く。同じく、アドバイザーの方向性を再認識し、いつか華を咲かせましょう。「東京2020」も「東京2021」に名を変え、大きな五輪の華を開かせるでしょう。そんなことをぼんやり思いながら「一華号偈」を思い出していました。

あたたかな花の季節なのに、門出の花の季節なのに、世界中の人々が「感染症」に振り回されています。神様は、仏様は、人類に何を試そうとなさっておられるのでしょうか・・・。